



留学生交流支援制度による日中韓の学生交流について

＜概要＞ 現在、世界は交通・通信等の発達によりグローバル化してきています。その中でも主役はアジアとなっています。就職するにあたって、中国や韓国の経済・社会・文化面への総合的な理解と活用力が必要になっています。しかし、大学生の海外への関心はむしろ低下しているのが現状で、岡山大学・経済学部においても同じで、留学希望者が少ない状況です。それを平成23年度から、とまかく短期で海外に行き、世界へ目を向けてもらうことを狙って始めた短期留学プログラムが、SSSVP（短期交換留学制度プログラム）です。

- ・派遣先での、学生交流、社会見学等により肌で感じた実体験・学習により、学生がその異文化理解を深め、活用する方向性を持つことが目的です。
- ・派遣先としては、韓国・春川の江原大学の経営大学に8月5日～12日に、学部2年次生～4年次生の10名が派遣されます。また、中国・北京の中央財経大学の経済学院には8月20日～27日に、学部2年次生～4年次生を10名派遣します。費用は宿泊費・受講費用・現地での交通費はお互いの大学で負担するため、実質の学生負担は食費・渡航費・保険・小遣い（いずれも10万円前後）です。なお、奨学金8万円が支給されるため、費用的負担はほとんどありません。
- ・受入れについても、同上の大学からそれぞれ10名の学部生を受け入れます。こちらも、教職員が社会見学・講義・学生交流についてサポートし、学生の費用負担は派遣の場合と同様ほとんどありません。江原大学は7月20日～7月27日に、中央財経大学は8月18日～8月25日にいずれも学生を10名ずつ受け入れる予定です。なお、以上の日程は平成24年度のものであります。
- ・スケジュール（1週間）の主な内容
 - ・各国の**経済事情**を中心とした講義
 - ・**学生交流**（レセプションを含めた意見交流）
 - ・**社会見学**（各国の企業見学など）
 - ・その国の**生活・文化**を体験

＜お問い合わせ先＞

岡山大学（社会文化科学研究科）

（氏名）長畑 秀和

（電話番号）086（251）7530

（FAX番号）同上

（メール）nagahata@e.okayama-u.ac.jp